



BusinessAsahi 2020

# ビジネス朝日

広島ビジネスの“いま”をクローズアップ 朝日新聞のビジネス情報紙

 1・2面：トップインタビュー  
 3面：ひろしま経済ニュース  
 4面：インフォメーション・読者プレゼント・クッキング  
 6面：いち押し・サンフレッチェ応援グッズ  
 マンスリーベスト Five BOOK  
 7面：コロナウイルスにまけるな・記者コラム  
 8面：ランチ & ウーマンインタビュー

Vol.79 発行日：毎月第3木曜日

## 朝日新聞

2020年5月21日発行

 発行元：(株)広島朝日広告社  
 〒730-0013 広島市中区八丁堀 11-28  
 Tel: 082-228-0131 Fax: 082-221-1718  
 発行協力：朝日新聞広島総局  
 広島県朝日会

### Top Interview

サンポール 社長

 やまね いくこ  
**山根 以久子さん (64歳)**

〈プロフィール〉1955年生まれ。島根県出雲市出身。大阪女子大（現大阪府立大）を卒業後、結婚して子育てに専念。父が社長、会長として長年率いてきた会社を継ぐ決心を固め、専業主婦から転身。2006年11月から現職。

学校や公民館、国際会議場などで見かけることが多い旗ポール。その国内シェアで、8割強を握るニッチ企業が広島市にある。太陽に向かって伸びる旗ポールにちなみ、社名はサンポール。車の進入を防ぐ車止めでも国内トップをひた走る。

ちよつとしたこだわりが、時にヒットを生むことがある。創業50周年を迎えるサンポールが、旗ポールの国内トップメーカーに飛躍したきっかけもそうだった。「撮影時に旗がポールに絡まってしまい、いい写真が撮れない」。カメラマンでもあった創業メンバーのこだわりから、製品の差別化につなげた。

旗が風になびくよう、ポールの先端部分を回転させる工夫を施した旗ポールを考案。創業から4年目には自社工場を立ち上げ、わずか10年で年商を6億円まで伸ばした。

その急成長を支えたのが、創業からまもなく、経営陣に加わった山根以久子社長（64）の父だった。創業3年目に社長となった父は約30年間、「実質的創業者」として会社を引っ張り、車の進入を防ぐ車止めの製造にも乗り出した。バブル絶頂期には年商47億円を売り上げた年と同日だった。

（辻森尚仁＝2面にインタビュー）



〈会社概要〉  
 〈本社〉 広島市中区南吉島2-4-5  
 〈創立〉 1970年  
 〈売上高〉 49億円（2019年9月期）  
 〈従業員数〉 190人（2020年4月末）

サンポールの山根以久子社長。旗ポールの分野で国内シェアの9割近くを握るニッチトップ企業を率いる＝広島市中区の本社、辻森尚仁撮影

旗ポール・車止めで国内トップ 専業主婦から社長に転身

米麴の  
プロが作る

手作り派はこちら！

体に優しい満腹感。添加物不使用。

## ますやの甘酒

ノンアルコールで、親子で飲めます。

母さんの味  
**ますやみそ**

本社／呉市西中央 3-7-40 ☎0823-21-6633

ますやみそ 検索





4年前のG7広島外相会合の際、参加国の国旗を掲げた旗ポールもサンポール製だった＝同社提供



旗ポールを製造する本社工場でインタビューに応じるサンポールの山根以久子社長＝広島市中区

# 生活者の発想、社内提案制度で競争力を磨く

――社長就任当時は

父は社内の各部門に次から次へと指示を出すタイプで、究極のトップダウン型でした。旗ポールでも、車止めでも国内シェアを取るために売り上げ重視の経営を続けていましたから、私が社長に就いた時も、社内では『とにかく売上高が大事なんだ』と言われていました。

個人的には違和感を覚えていましたが、自分から意見を言うタイプではなかったもので、当初は黙っていましたね。

――変わるきっかけは

やっぱり会社のことをもっと知らないといけないと思いい、工場の古参社員に頼んで製造現場を見せてもらった。社長さんから、当たり前のことですけど、時間があつたら工場に出向き、作業着を着て、一緒に作業することもありました。

――社長就任5年目に、中

小企業の社長らが集まる経営者セミナーに参加する機会がありました。松下幸之助さんの本を読んだり、経営とは、会社とは何かを考えたりしました。いい刺激でした。

――企業経営への考え方も変わりましたか

専業主婦としての視点にも、もっと生活者の目線や発想を生かすことを考えるようになりました。

例えば、車止め製品の定番となつている「ピコリーノ」。門のような形をした車止めに、4羽の小鳥がとまっているようなデザインです。子どもが公園などで車止めに乗って遊ばないように、という女性役員からの提案が発端でした。

――社内提案制度も導入しているそうですね

社員に自社製品への愛

――着を高めてもらおうと、

優れたアイデアが寄せられたら、社内横断的なチームをつくり、様々な部署から人を集める仕組みも採り入れています。広島カープの熱烈ファンである社員が提案したカープのパーテーションポールも実際に製品化し、銀行で採用されました。

社名の由来となつている旗ポールも、バブル期には年間で1万5千本売れていましたが、今の稼ぎ頭は車止めで、全社の売上高の8割を占めています。

自治体の財政は厳しく、公共事業が減り、国内市場が長期的に縮小するのは避けられませんが、製品の競争力を高め、いく必要があります。

――そのために、どう取り組んでいますか

一つは製造技術の社内

継承です。旗ポールも車止めも、金属加工の技術にたけた協力会社の存在が不可欠ですが、町工場の集積地として知られる大阪府東大阪市などでは後継者難に苦しむ会社も多くあります。自社が生き残っていくためにも、ある程度の内製化技術が必要だと考え、自社工場での取り組みを強化しています。

二つ目は海外への市場展開を視野に入れた企業の合併・買収（M&A）です。3年前にタイの会社を買収し、現地で旗ポールの製造販売を手がけています。

社長として、3年ほど前から、社内で「Yes smile」を呼びかけています。周囲やお客さんを笑顔にできる製品には競争力があります。そうした製品づくりに向け、社内で笑顔とボトムアップを今後も大切にしていきたいと考えています。

（聞き手・辻森尚仁）



カープファンの社員が提案して製品化されたパーテーションポール。もみじ銀行本店にも採用された＝サンポール提供

大型商業施設などの新規受注を狙い、据え置き型の車止めも開発した＝サンポール提供

サンポールの車止めは国内トップシェアを誇る。写真は定番の「ピコリーノ」

## 塗装工事、防水工事、内外リフォームは地元企業の「建栄」におまかせください!

お家のリフォームやお困りごとなど、迅速、丁寧に対応し、最良なご提案をいたします。



塗装

建物の傷みを放置してしまいますと劣化がどんどん進み、修繕にかかる費用も膨らみます。酷くなると直せない…なんてことにも。



防水

水分は建物の大敵です。木造でも、鉄骨でも、石造りでも、建物内部に侵入した雨水は壁や天井を変色・劣化させ、美観を損ねます。



リフォーム

トイレ・お風呂・キッチンなどの水まわり、外装、内装などの様々なリフォームを、納得いくまで打ち合わせを重ねながら進めていきます。

見積無料



お家のあれこれ! まずは、お気軽にご相談ください!

KEN-EI 株式会社 建栄

〒734-0026 広島市南区仁保3丁目32-18  
TEL.082-569-5534  
http://www.h-kenei.co.jp



広島県知事許可(般-30)第36666号  
(一社)日本塗装工業会会員